

クイックスタートガイド



MOTÖR 61 / MOTÖR 49

61/49-Key USB/MIDI Master Controller Keyboard with
Motorized Faders and Touch-Sensitive Pads

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついて 있습니다。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

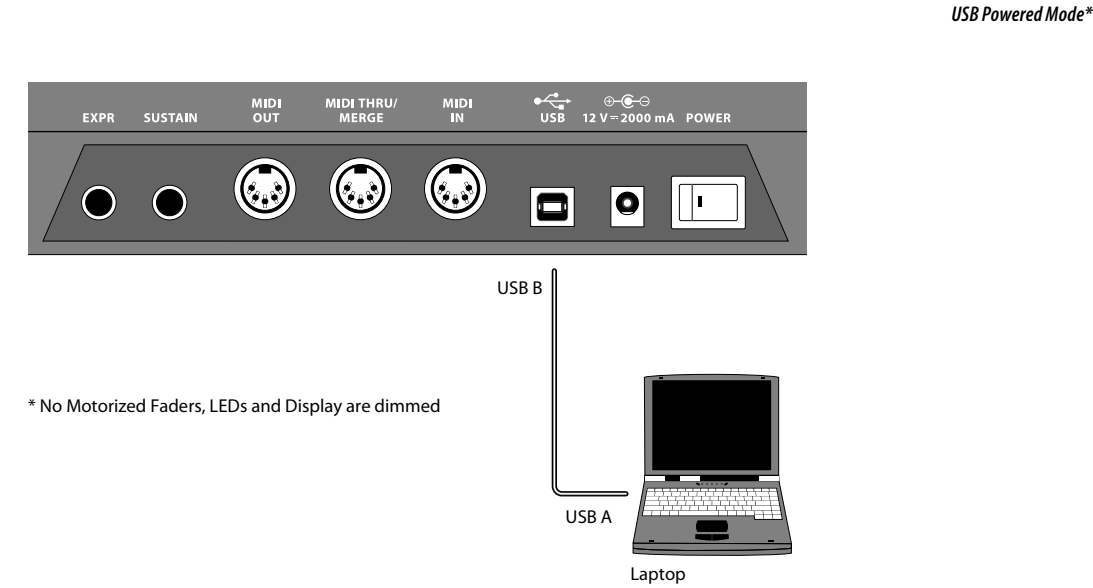
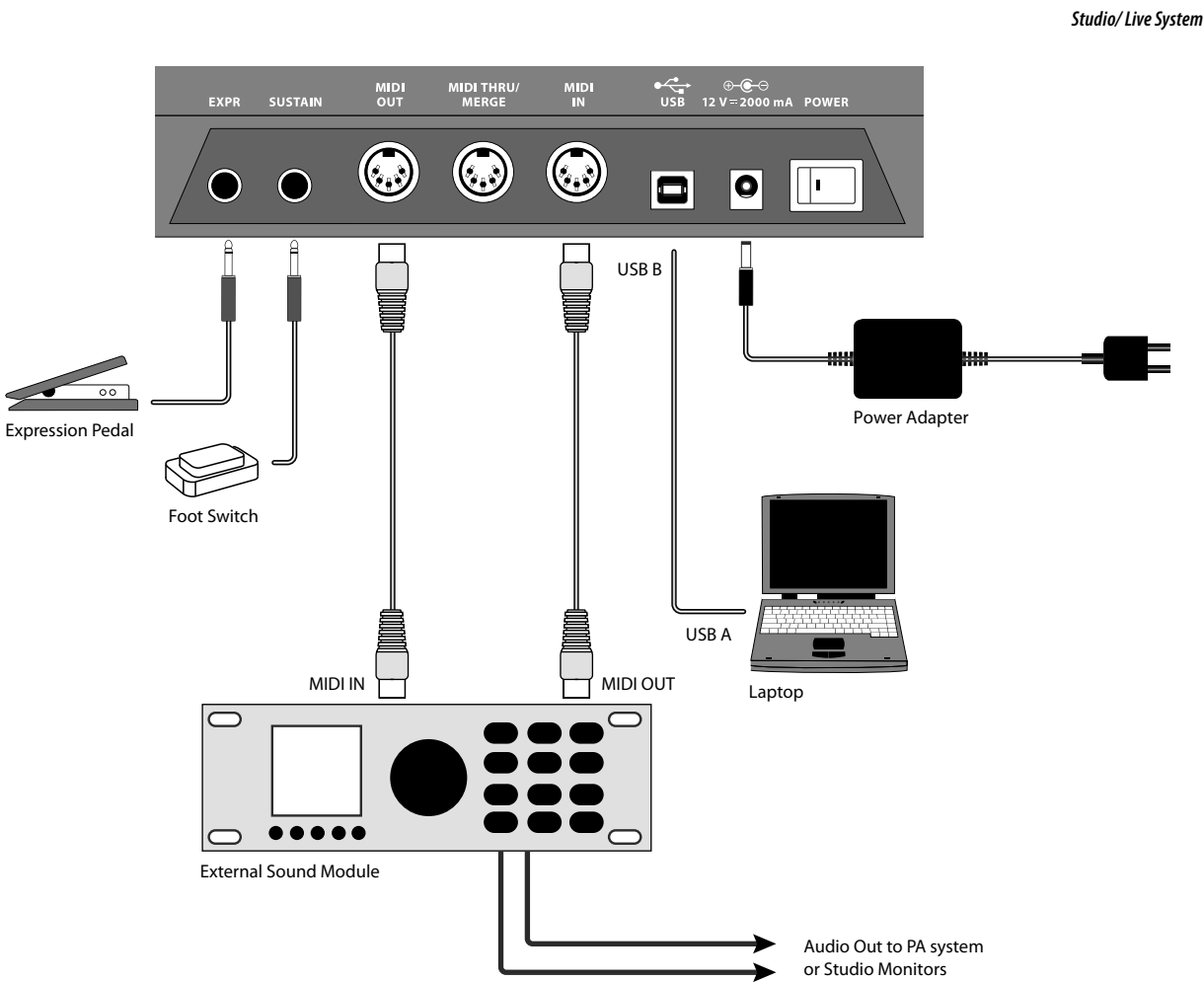
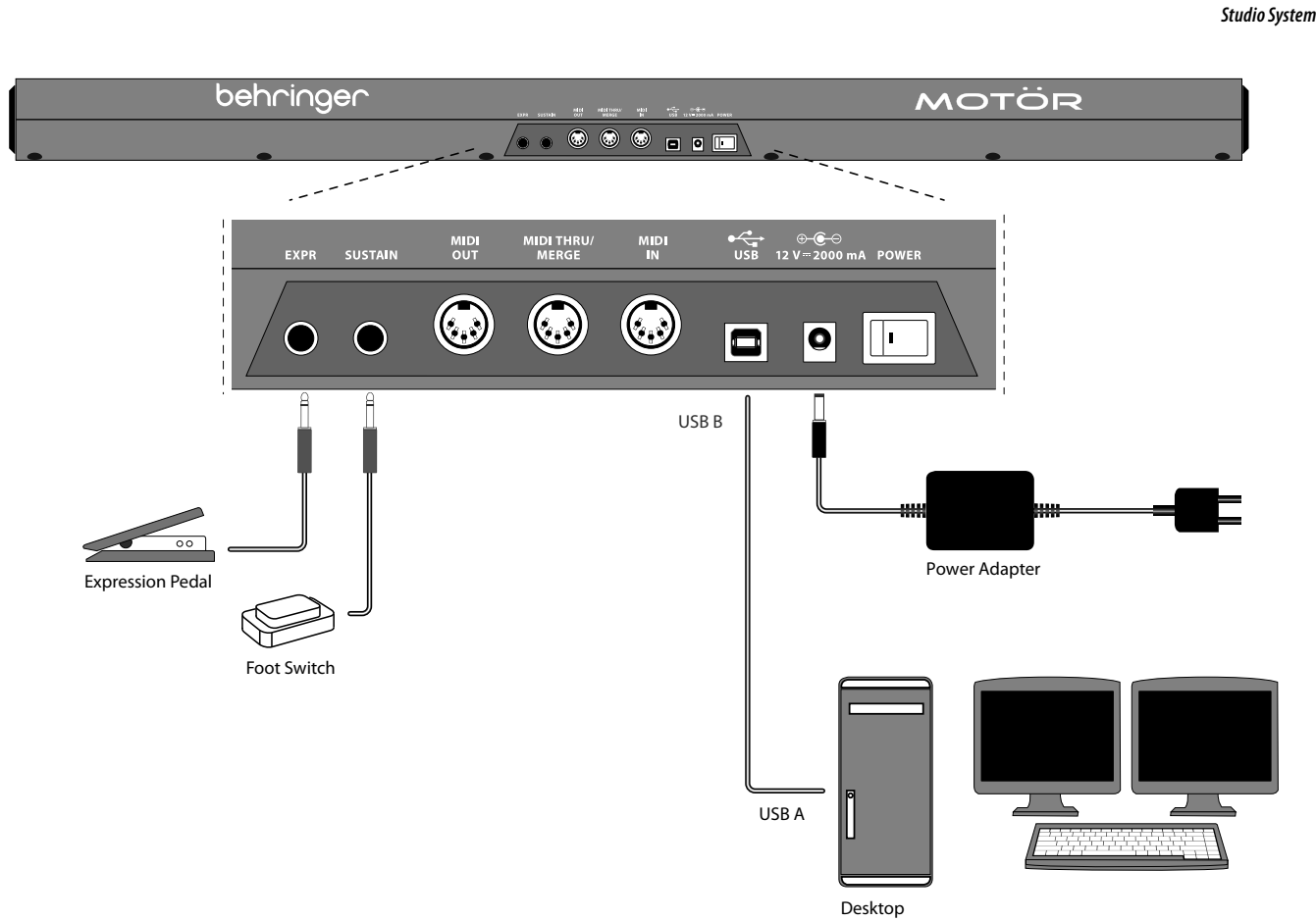
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2016 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

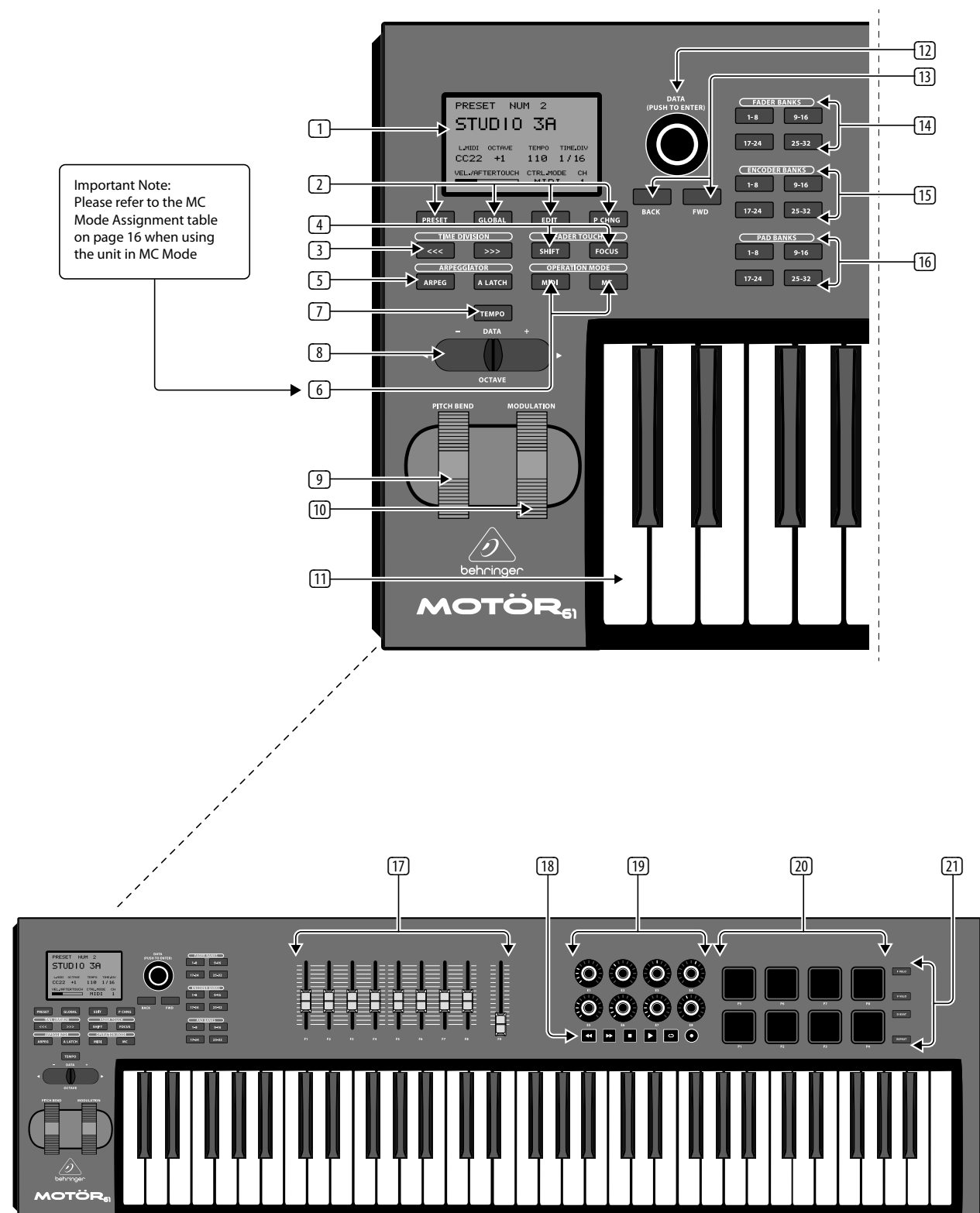
MOTÖR 61 / MOTÖR 49 フックアップ

ステップ 1: フックアップ



* No Motorized Faders, LEDs and Display are dimmed

MOTÖR 61 / MOTÖR 49 コントロール



ステップ 2: コントロール

① **ディスプレイ** - キーボードの状態、編集パラメーターをすばやく確認し、またプリセット (PRESETS)、グローバル (GLOBAL)、エディット (EDIT) およびプログラムチェンジ (PROGRAM CHANGE) の、4つのメニューを操作するための、大型のバックライトつき LCD 画面です。DATA ノブを回し (選択時押下)、戻る (BACK) および進む (FWD) ボタンを使ってディスプレイメニューを操作します。画面コントラストと明るさは、グローバル / デバイス (GLOBAL/DEVICE) メニューで調節します。

② **プリセット (PRESET)** - このメニューでは、現在のプリセットの素早い操作と、データ (DATA) プッシュエンコーダーによりプリセット選択が容易にできます。編集の際は (保存、コピー、消去、名称変更)、エディット (EDIT) メニューに行きます。エディットメニューではプリセットオーバービューリストの閲覧もできます。

グローバル (GLOBAL) - 以下の機能のプロパティ閲覧および調節ができるメニューです: MIDI 割り当て、パッド、フェーダー、エンコーダー、キーボードプロパティ、および LCD コントラスト / ブライツネスなどのデバイス設定、その他の機能。

エディット (EDIT) - プリセットの保存、コピー、消去および名称変更、そしてアルペジエーター、ノートリピート (パッド用)、トランスポート (キーボード用)、そしてキーボードスプリットなどの追加アイテムおよび機能を編集するメニューです。

プログラムチェンジ (P.CHNG) - アタッチしたハードウェアまたはソフトウェアにプログラムチェンジメッセージを送信する、パッドのセットアップをおこなうメニューです。メニューは 2 つです: 1 つ目のメニューにはパッドへの固定プログラムチェンジコマンドを割り当て、2 つ目のメニューで、すばやく単独のプログラムチェンジメッセージを送ります。

③ **タイムディビジョン (TIME DIVISION)** <<</>>> - ノートリピートおよびアルペジオの時分割の値を可能な範囲で動かすためのボタンです。現在のタイムディビジョン値はディスプレイに表示されます。

④ **フェーダータッチ - シフトおよびフォーカス (FADER TOUCH - SHIFT, FOCUS)** - フェーダーの“タッチ”機能の変更をするためのボタンです。シフトを長押しすると、フェーダーのタッチ機能のノートまたは CC コマンドの別セットができます。フォーカスも同様ですが、ボタンを長押しする必要はありません; フォーカスボタンで第二のアサインメントモードをオン、オフできます。グローバル / MIDI / チェンジコントロール (GLOBAL/MIDI/CHANGE CONTROL) メニューで、チェンジコントロールのセット時に、フェーダー シフト (FADER SHIFT) ボタンをホールドダウンすると、各フェーダーの別コマンドをセットアップできます。

⑤ **アルペジオ (ARPEG)** - 内蔵アルペジエーターをオン / オフするボタンです。エディット / アルペジエーター / スタイル (EDIT/ARPEGGIATOR/STYLE) メニューで、さまざまなプレイモードを選択できます。

A ラッチ (A LATCH) - 有効時、アルペジオに基づくラッチ・キーを生成し、キーから手を離してもプレイし続けます。

⑥ **オペレーションモード (OPERATION MODE)**

MIDI - ユニットを、MIDI データの送信および応答が可能な MIDI モードにします。MIDI モードになるとこのボタンが点灯し、MC モードが解除されます (MIDI モードは、全アサインメントをユーザーが自由におこなえ、プリセットへの保存ができる、標準モードです)。

MC - を押下した状態では、このボタンが点灯します。このモードではハイブリッド操作となりますのでご注意ください - パネルコントロール (パッド以外) は MC コントロールに、一方、キー、パッドおよび両ホイールは標準 MIDI オペレーションとなります。そのため MIDI と MC オペレーションモードの切り替えが不要です。お使いのソフトウェアが Mackie Control プロトコルに対応している場合は、MC モードを継続できます。

MC コミュニケーションを行うには、MIDI DAW の Mackie Control Surface で提示された中の、2 番目の MIDI ポートを割り当ててください。

⑦ **テンポ (TEMPO)** - このボタンを任意のテンポで 2 回押し、BPM (1 分あたりの拍数) を調節します。このボタンは現在の BPM のダウンビートで点滅します。ディスプレイにプリセットメニューが表示されている場合は、テンポボタンを押しながら DATA ノブを回し、BPM を調節することもできます。

⑧ **オクターブ ± (OCTAVE ±)** - キーボードのピッチレンジをオクターブ単位で上下に移動します。両ボタンを同時に押すとオクターブ 0 (トランスポート無し) にリセットします。このボタンはまた、諸々のエディットメニューでデータの ± を入力する際にも使用します。ファームウェアアップデートをするには、両オクターブボタンを同時に長押ししながら電源スイッチを入れます。

⑨ **ピッチベンド (PITCH BEND)** - ピッチを上下させるホイールです。

⑩ **モジュレーション (MODULATION)** - ヴィブラート (モジュレーション) をかけるホイールです。このホイールには、グローバル / MIDI / チェンジコントロール (GLOBAL/MIDI/CHANGE CONTROL) メニューで別の CC 番号を割り当てることもできます。

⑪ **鍵盤** - ペロシティおよびアフタータッチに優れた、49 鍵または 61 鍵セミウェイト フルサイズ鍵盤です。

⑫ **データ (DATA)** - 画面内の利用可能なメニューおよび値をスクロール操作し、ノブを押すことでメニューまたは値を選択する、プッシュエンコーダー ノブです。ノブを速く回すと、値の変化速度も上がります (選択するパラメーターに依存します)。

⑬ **戻る / 進む (BACK, FWD)** - これらのボタンと DATA ノブで、画面を操作します。

⑭ **フェーダーバンク (FADER BANKS)** - 8 つのフェーダーからなる、4 つのバンクを選択するボタンです。それぞれのフェーダーは 8 つのパラメーターを表します (4 つのタッチおよび 4 つのムーブコマンド)。マスターフェーダーはバンクに影響されません。注意: すべてのバンクボタン (フェーダー、エンコーダー、パッド) はバンク変更のみ可能で、MIDI モード時に MIDI データを送信しません。

⑮ **エンコーダーバンク (ENCODER BANKS)** - 8 つのエンコーダーからなる、4 つのバンクを選択します。

MOTÖR 61 / MOTÖR 49 コントロール

16 **パッドバンク (PAD BANKS)** - 8 つのパッドからなる、4 つのバンクを選択します。

17 **フェーダー** - DAW ミキサー、ドロワーオルガン、ソフトシンセサイザー、エフェクトユニット等を制御する、60 mm タッチセンシティブモーターフェーダーです。MIDI モードでは、フェーダーは CC コマンドの送受信で動きを、CC またはノートコマンドの送受信でタッチを制御します。MC モードでは DAW ソフトウェアのプロトコルに従います。MIDI モードでフェーダーバンク (FADER BANK) ボタンを使用し、4 種類のバンク (フェーダー割り当て) から選択します。フェーダー 9 (マスター) は通常マスターボリューム制御に使用されます。ほかのフェーダーと同様に動作しますが、バンクはありません。

18 **トランスポートボタン** - 標準トランスポートコントロールで、DAW の録音 / 再生コントロールに直接アクセスします:

<<>> - ソングの早送り / 早戻し、またマーカー間のスキップ送り / スキップ戻しをおこないます。

ストップ (STOP) - 再生を停止します。

再生 (PLAY) - 再生を開始します。

ループ (LOOP) - プレイバック中に選択範囲をループします。

録音 (RECORD) - 録音態勢になります。

19 **エンコーダー** - 13 段階の環状 LED を持つ、デテントつきエンドレスエンコーダーです。選択したモードに応じて MIDI か MC データのいずれかを送出します。MIDI モードでエンコーダーバンク (ENCODER BANK) ボタンを使用し、4 つのバンクを切り替えます。

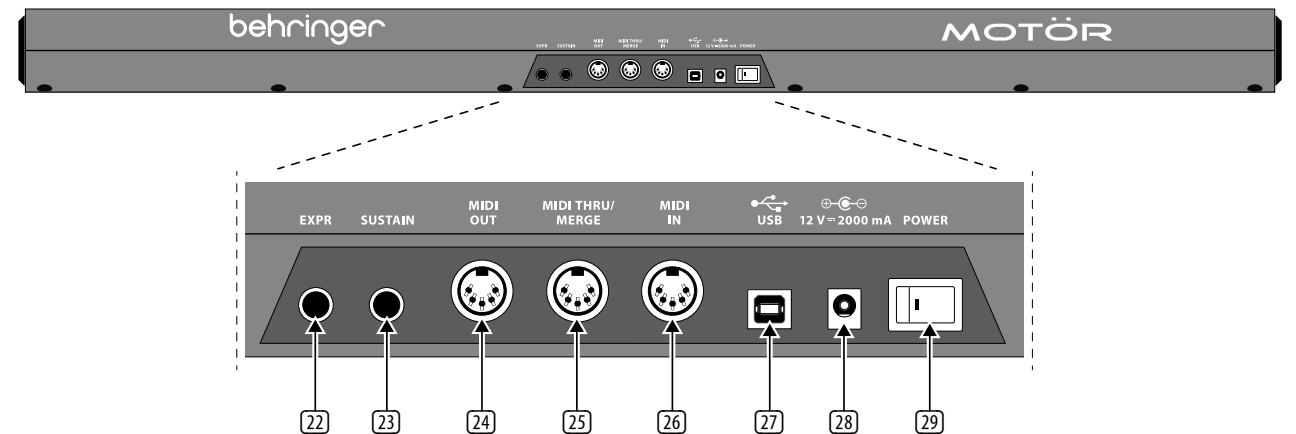
20 **ドラムパッド** - 究極のドラムおよびサンプルループ パフォーマンスを実現するための、ベロシティおよびブレッシャー感度を備えた、8 つのバックライトつきドラムパッドです。CC または MIDI ノートコマンド、無段可変アフタータッチを送信します。パッドへの割り当ては、MIDI モードでパッドバンク (PAD BANK) ボタンを使用して、4 つのバンクを切り替えて変更します。グローバル / パッド (GLOBAL/PADS) メニューで、ベロシティおよびアフタータッチ割り当ての調整、グローバル / パッド / カラー (GLOBAL/PADS/COLOR) メニューで 16 種類のバックライトカラーを、各パッド独立で選択できます。

21 **固定ベロシティ (F VELO)** - パッドから固定ベロシティが送信されます (パッドを押す強弱は反映されません)。任意の固定ベロシティを設定してください。

可変ベロシティ (V VELO) - パッドから可変ベロシティメッセージが送信されます (パッドを押す強弱がベロシティに反映されます)。

ダブルビート (D BEAT) - このダブルビートボタンでは、トリガーされたパッドの、ダブルペダルの音をエミュレートします。この機能ではパッドを押した時のノートコマンドのみでなく、リリースしたタイミングも送信されます。

リピート (REPEAT) - このボタンは、押しているパッドを自動的に再トリガーします。リピートが有効になっている場合、パッドを長押しすると、割り当てノートコマンドを何度も再トリガーします。再トリガー速度はタイムディビジョン (TIME DIVISION) ボタンおよび テンポ (TEMPO) ボタンで制御します。



リアパネル

22 **EXPR** - エクスプレッションペダルを接続する 1/4 インチジャックです。このペダルの動作は、グローバル / MIDI / チェンジコントロール (GLOBAL/MIDI/CHANGE CONTROL) メニューでカスタマイズできます。メニューが、ユーザーによるコントロール操作を待機している間に、ペダルを押して設定します。

23 **サステイン (SUSTAIN)** - ノーマルオープンスイッチなどのサステインペダルを接続する、1/4 インチジャックです。メニューが、ユーザーによるコントロール操作を待機している間に、ペダルを押して設定します。

24 **MIDI 出力 (MIDI OUT)** - MOTÖR キーボードの生成する MIDI データを外部機器に送信する、5 ピン DIN ジャックです。

25 **MIDI スルー / マージ (MIDI THRU/MERGE)** - スルー (THRU) またはマージ (MERGE) の 2 つのモードで動作するポートです。モードは (GLOBAL/MIDI/MIDI THRU MODE) で選択できます:

MIDI スルー (MIDI THRU) - 外部機器から、MOTÖR キーボードの MIDI 入力または USB ジャックに入力された MIDI データを、MIDI スルージャックから送出します (MOTÖR キーボードの MIDI 出力データを加えずに、MIDI 機器と別の MIDI 機器とのコミュニケーションをおこないます)。

MIDI マージ (MIDI MERGE) - 外部機器から、MOTÖR キーボードの MIDI 入力または USB ジャックに入力された MIDI データを、MOTÖR キーボードの生成する MIDI データと、MOTÖR キーボードで統合し、MIDI スルージャックに出力します。

26 **MIDI 入力 (MIDI IN)** - 外部ソースが生成した MIDI データを、MOTÖR キーボードへ送るための端子です。通常、外部ハードウェアシーケンサー、MIDI インターフェイスを装備したコンピューターなどを接続します。

27 **USB ポート** - コンピューター接続のための USB B タイプジャックです。MOTÖR キーボードはクラスコンプライアント USB MIDI 機器ですので、MIDI 送受信が可能です。

USB MIDI 入力 (USB MIDI IN) - アプリケーションからの MIDI データを受け入れます。

USB MIDI 出力 (USB MIDI OUT) - 出力 (OUT)、スルー (THRU) します。グローバル / MIDI / USB 出力モード (GLOBAL/MIDI/USB OUT MODE) メニューで選択できます。

28 **電源入力** - 付属の電源アダプターのみを接続してください。電源アダプターをお住まいの地域の AC 電源に接続します。MOTÖR キーボードは USB 経由での電力供給も可能です。その場合、コンピューターに接続した USB 端子で電力を受け取り、フェーダーのモーターは無効になり、ディスプレイおよびボタンが、省電力のため暗くなります。

29 **電源スイッチ (POWER)** - MOTÖR キーボードの電源オン / オフをおこないます。必要な接続をすべて済ませてから、電源をオンにしてください。

MOTÖR 61 / MOTÖR 49 はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この“スタートアップマニュアル”では、MOTÖR キーボードコントローラーのセットアップ方法、および機能を簡潔に解説します。MOTÖR キーボードコントローラーは、バーチャルインストゥルメントおよび DAW (デジタルオーディオワークステーション) を、高品位キーボード、8 つの回転式エンコーダー、9 つのタッチセンシティブ 60 mm モーターフェーダー、8 つのバックライト、ペロシティおよびプレッシャーセンシティブティ装備ドラムパッドによる、精確なタッチとフィールで制御します。MOTÖR キーボードは、標準 MIDI モードでの、ユーザーによる自由な割り当てと、プリセットの使用が一般的ですが、別の使い方として、MOTÖR キーボードを MC モードでご使用いただくこともできます。

ソフトウェアセットアップ

MOTÖR コントローラーは USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバーのインストールは不要です。

ハードウェアセットアップ

お使いのシステムで、必要な接続をすべて済ませます。

付属の電源アダプターを必ず使用して、電源を接続します。ただし、電源アダプターの代わりに、起動中のコンピューターとの USB 接続によっても電源供給が可能です (この動作モードでは、フェーダーのモーターは無効になり、ディスプレイおよびボタンの LED ライトは暗くなります)。電源スイッチを入れます。

セットアップ

お使いの DAW 上で MOTÖR キーボードコントローラーを探し、MIDI 機器として選択します。

DAW の様々な機能とコントロールを制御できるようにするため、DAW の指示にしたがい MOTÖR キーボードコントローラーの機能をマップします。たとえば、MOTÖR フェーダーを DAW トラックボリュームコントロールに、エンコーダーを DAW の定位コントロールに、マスターフェーダーを DAW のマスターボリュームに、様々なトランスポートコントロールを DAW のトランスポートコントロールにマップするなどです。通常のマッピング手順では、任意の DAW パラメーター (トラック 1 のボリュームなど) を選択すると、DAW が待機に入りますので、該当の MOTÖR コントロール (フェーダー 1 ボリューム) を動かしてください。すべての機能を正しくマップし終わるまで、この手順を繰り返します。

MOTÖR のコントロールを操作し、DAW のコントロール類の動作が追従すること確認します。正しく動作しないものがあれば、マッピング手順を繰り返します。

注意: フェーダー、パッド、エンコーダーのバンク 9-16 (例) への割り当ての際には、DAW へのマッピング中、バンク 9-16 が選択されていることをご確認ください。その他のバンクに関しても同様です。フェーダータッチに別の割り当てをする際には、DAW へのフェーダータッチのマッピング中、フェーダーシフト (FADER SHIFT) またはフェーダーフォーカス (FADER FOCUS) ボタンを押下している必要があります。これらを DAW に保存すると、MOTÖR キーボードコントローラーマッピングを簡単に呼び出すことができます。いくつかのバラエティをつくらせておけば、別の設定を簡単に呼び出すことができます。

グローバル (GLOBAL) およびエディット (EDIT) メニューでは、MOTÖR キーボードコントローラーをお好みに合わせてカスタマイズできます。

グローバル / MIDI / チェンジコントロール (GLOBAL / MIDI / CHANGE CONTROL) では、お使いの DAW およびお好みに合わせて、いずれの MOTÖR コントロールもカスタマイズ可能です。変更はプリセットに保存し、エディット / プリセット (EDIT / PRESETS) メニューで簡単に呼び出すことができます。最高 64 種類のプリセットを保存でき、エディット / プリセット / プリセットオーバービュー (EDIT / PRESETS / PRESET OVERVIEW) メニューでプリセットリストを閲覧できます。

ファームウェアアップデート

ユニットのファームウェアが最新かどうかをお確かめください (ディスプレイのグローバル / デバイス / ファームウェア - GLOBAL / DEVICE / FIRMWARE - メニューで確認できます)。最新でない場合、ファームウェアアップデートにより、最新の拡張機能がご利用いただけます。当社ウェブサイト behringer.com へアクセスし、MOTÖR の製品ページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。



重要な注意: ファームウェアアップデートをおこなうと、ユーザーの作成したユーザープリセットがすべて消去されます!

両オクターブ (OCTAVE) ボタンを同時に押しながら、キーボードの電源を入れます。ファームウェアアップデート画面が出たら、両ボタンから手を放します。ファームウェアアプリケーションをコンピューターで開始すると、コンピューター画面にファームウェアアップデートの手順説明が表示されます。

MOTÖR 61 / MOTÖR 49 Display Menus

PRESET MENU

This is the default screen when the keyboard is turned on. It shows the currently-selected preset's number and name, the last sent MIDI event, the octave, current Tempo BPM, time division value, velocity/aftertouch meter, MIDI or MC mode, and MIDI channel.

First press the DATA knob, then turn the knob to scroll through the available (non empty) preset names, then press again to select the desired preset.

NOTE: You can only select/scroll through presets, if any user presets have previously been created. To do so, save/copy a preset using the EDIT\PRESETS\SAVE/COPY PRESET menu.

The MOTÖR keyboard comes with 64 memory places for your own user presets with individual naming.

You can see a list of all presets in the EDIT menu: EDIT\PRESETS\PRESET OVERVIEW.

GLOBAL MENU

MIDI

1. **MIDI PANIC** – use this if your host software is suffering from stuck notes or synchronization issues.
2. **GLOBAL CHANNEL** – select the global MIDI channel, from 1 to 16.
3. **MIDI CLOCK** – set the BPM-based features (arpeggiator, note repeat) to run off the internal clock, an external MIDI clock, or an external USB clock.
4. **CHANGE CONTROL** – this is only active in MIDI mode: Move a desired control such as a fader, encoder, pad, foot control, mod wheel, or transport button, and then change its parameters:

MIDI OUT – select from MIDI, USB, or USB+MIDI.

MIDI CH – select from 1-16, ALL, GLOBAL CH, or OFF

CC NUM – from 0-127 (there will be a warning if this is already in use)

SET START VALUE – from 0 to 127

SET END VALUE – from 0 to 127

Note: Continuous controls have CC assignment only, but press/touch elements, such as transport buttons, pads, the sustain switch or the fader touch function, have 2 options, either CTRL CHNG or NOTE MESSAGE with different menu options

If you move the Expression Pedal, while in this CHANGE CONTROL menu, you can choose it to send a CC message, or to operate as one of the following: an expression pedal, pitch bend, mod wheel, or volume control.

If you press the Sustain Pedal, you can choose it to send a CC message, Note message, or to operate as one of the following: sustain pedal, play/stop, record on/off, Arpeggiator on/off, or Arp Latch.

5. **MIDI THRU MODE** – select the MIDI MERGE/THRU port to be THRU or MERGE.
6. **USB OUT MODE** – select between OUT, THRU, and MERGE operation.
7. **TRANSPORT MODE** – rotate the DATA knob to select the assignment of the transport buttons from: MMC, MIDI, MMC+MIDI, MIDI Control, or MIDI Note.

PADS

1. **PAD VELOCITY** – select from three pad-velocity options (Soft, Medium, and Hard).
2. **FIXED VELOCITY** – select the desired fixed velocity fom 0 to 127.
3. **AFTER TOUCH SENSITIVITY** – select the desired sensitivity from OFF, 1 to 10. Always select OFF if not needed (reduces MIDI traffic).
4. **COLOR** – Select a pad and then choose from 16 possible backlight colors. Each pad can be a different color.

FADERS

1. **MOTOR ON/OFF** – turns the fader motors on or off.
2. **TOUCH ON/OFF** – turns the fader touch sensitivity on or off.
3. **MOTOR CALIBRATE** – starts a routine to calibrate the fader motors, and the faders will slide up and down once. This is the same as when the MOTÖR keyboard is turned on. (It only happens if the MOTÖR keyboard is powered by the supplied power adapter.)
4. **MOTOR CONSISTENCY** – this concerns smoothness and mechanical noise reduction when controlling the motors. This menu lets you choose between consistency ON or OFF.

ENCODERS

1. **ACCELERATION** – changes the response curve of the encoder output from 0 (no acceleration), to 10 (maximum acceleration applied).
2. **LED RING MODE** – move an encoder to select it, and then choose from 5 different illumination modes of the LED ring: Single, Pan, Fan, Spread, Trim. Each encoder can have a different LED ring mode. Choose a display mode that suits

your use of the encoders, for example you could be using some as trim controls, and some as pan controls.

KEYBOARD

1. **VELOCITY SENSITIVITY** – select from four keyboard sensitivity options (Off, Soft, Medium, and Hard). If OFF is selected, then you can adjust the FIXED VELOCITY from 0 to 127.
2. **KEY AFTERTOUCH** – select the desired aftertouch sensitivity from OFF, 1 to 10. Always select OFF if not needed (reduces MIDI traffic). The higher the aftertouch number you choose, the more extreme the variations in the aftertouch value as you change the pressure.

DEVICE

1. **FIRMWARE INFO** – displays the current firmware version.
2. **LCD CONTRAST** – changes the contrast setting of the LCD screen. The display can also be negative (setting 0).
3. **POWER SAVING** – allows you to switch on the same mode which is standard in USB bus power mode (if no power adapter is connected and power is provided from computer via USB). When ON, it disables fader motors, fader touch, and dims all LEDs and the display.
4. **BRIGHTNESS** – adjust the LCD backlight and LED brightness.
5. **RESET SETTINGS** – this will reset all presets and global settings. Caution: Use this carefully as all of your saved presets will be erased and the global settings set to their default factory value.

EDIT MENU

PRESETS

1. **SAVE/COPY PRESET** – save the current preset to its current number, or copy to a different number from 1 to 64.
2. **DELETE PRESET** – delete the current preset.
3. **RENAME PRESET** – rotate the DATA knob to select letters, then press to move to the next space. Repeat until the title looks good. Press the FWD button to save and exit.
4. **PRESET OVERVIEW** – lists all 64 preset locations (8 at a time), including “Empty” presets (free memory places). Turn the DATA knob to select, and press the knob to load a desired preset. Note: Empty presets cannot be loaded.
5. **SYSEX TX** – allows you to send ALL presets or a SINGLE preset to your computer via the USB connection. Use the DATA knob to select YES or NO.

ARPEGGIATOR

This only affects the keyboard, allowing keys that are pressed to be turned into tempo-synchronized sequences. The arpeggiator cycles through the notes being held by the user, in a certain order, based on the Style variable:

1. STYLE

1. **UP** – notes play from lowest held to highest, no matter what order keys are pressed.
2. **DOWN** – notes play from highest held to lowest, no matter what order keys are pressed.
3. **ORDER** – notes play in the order keys were pressed.
4. **INCLUDE** – notes play from lowest to highest and back down. End notes are re-triggered at the direction change.
5. **EXCLUDE** – notes play from lowest to highest and back down. End notes are not re-triggered at the direction change.
6. **RANDOM** – notes play in random order, no matter what order the keys are pressed (may include retriggering of notes).
7. **CHORD** – All held notes play at the same time (polyphonic). All notes play in a chord, and repeated according to the arpeggiator timing variables. All except CHORD are monophonic sequences.

2. GATE

NOTE GATE – select how long notes play by turning the DATA knob. The longer the gate time (shown in musical notation), the longer the notes are held. The display bar also indicates where the different note values (1/16T, 1/8, etc.) are placed.

3. RANGE

ARP SEQUENCE RANGE – adjusts the octave range of the arpeggiator notes. Range goes from 0 (only the pressed notes are repeated) to +3 (arpeggio notes go over +3 octaves).

4. SWING

ARP SWING AMOUNT - Swing moves the even notes in the sequence by a certain number of milliseconds. Higher values lengthen the interval between odd and even notes, even-to-odd intervals are correspondingly shortened.

5. SPLIT

ALL – the arpeggiator is applied to the entire keyboard, regardless of any split.

RIGHT SIDE ONLY – the arpeggiator is applied to the right hand side of the keyboard split.

LEFT SIDE ONLY – the arpeggiator is only applied to the left hand side of the keyboard split. NOTE: RIGHT SIDE ONLY or LEFT SIDE ONLY only operate if the KEYBOARD SPLIT has been set to ON. See the KEYBOARD SPLIT section

PAD NOTE REPEAT

The pad note repeat function is selected by pressing the REPEAT button next to the pads. It allows you to hold down a pad, and trigger the note output multiple times, as long as the pad remains pressed. This menu allows you to adjust the pad note repeat effects.

1. **GATE** – the longer the gate time (shown in musical notation), the longer the repeat notes are held.
2. **SWING** – Swing moves the even notes in the Note Repeat sequence by a certain number of milliseconds.
3. **BUTTON BEHAVIOR** – toggles the REPEAT button between LATCH and MOMENTARY action.

TRANSPOSE

This shifts the keyboard note values up or down by semitones. Turn the DATA knob to change the value through a range of ± 12 semitones.

KEYBOARD SPLIT

This splits the keyboard's MIDI output, allowing playback of multiple instruments (such as a bass on the left hand and strings on the right).

1. **SPLIT ON/OFF** – turns the keyboard split on or off and select the lower octave from -5 to +5.
2. **SET UP SPLIT** – select the split point of the keyboard by pressing the desired key on the keyboard. Then select the lower MIDI channel from 1 to 16, and select the lower octave fom -5 to +5.
NOTE: The upper part uses the GLOBAL MIDI channel.

P.CHNG MENU

There are 2 options: PAD ASSIGN or SINGLE SEND

PAD ASSIGN

This menu assigns fixed program change commands to the pads. The following steps are available for each pad (in each PAD BANK):

1. Select PAD – press the PAD you would like to assign a program change command to.
2. MIDI OUT – select from USB+MIDI, MIDI, or USB.
3. MIDI CHAN – select the MIDI channel on which the program change command should be sent. Choose from 1 to 16, ALL, GLOBAL Channel, or OFF.
4. Select TYPE – you can send a simple program change command (PGM CHNG) or a program change in a specific sound bank (BANK+PGM CHNG).

5. Select MSB (if BANK+PGM CHNG had been selected in step 4).
6. Select LSB (if BANK+PGM CHNG had been selected in step 4).
7. Select NUMBER – (Program Change command 0-127).
8. Select FIX if a single specific sound should be sent out, INC or DEC if each pad press should step upwards or downwards in the sound bank.

After a program change command has been assigned to a pad using these options, it can be sent as follows: Press the P.CHNG button and press the pad (or the appropriate BANK and then the pad), and the command will be sent. You can also press other pads at this time. Press PRESET, GLOBAL, or EDIT buttons to return the pad to its original operation.

SINGLE SEND

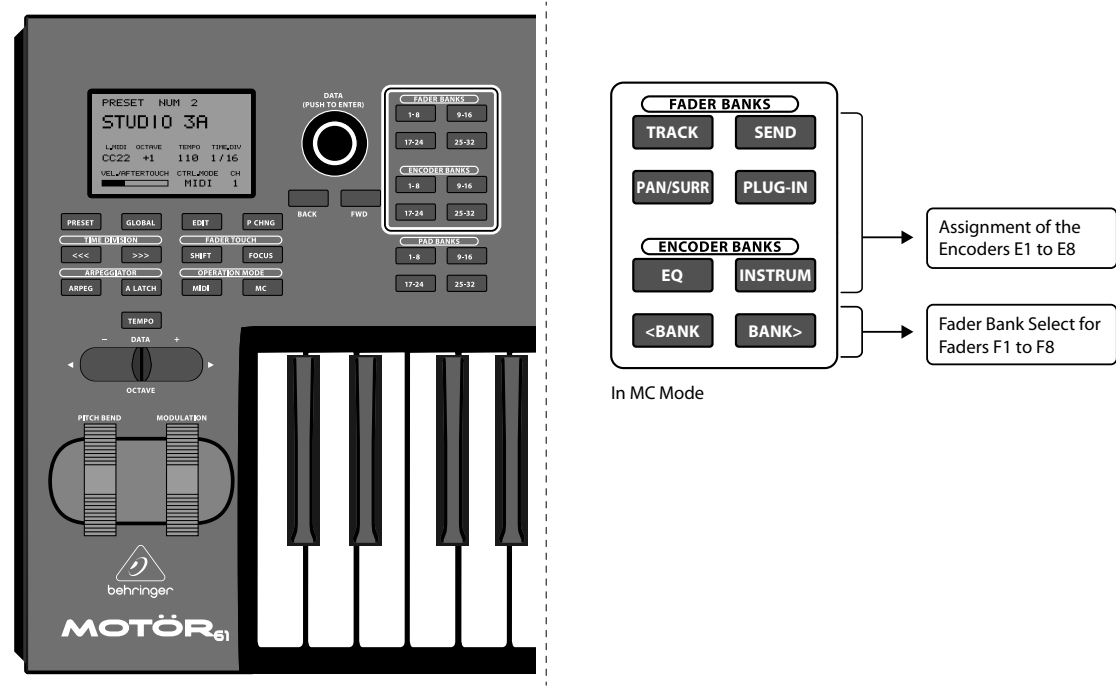
This allows you to set up a single program change message and send it instantly to an attached DAW or synth. Follow these steps to set up a single send:

1. Select PGM CHNG, or BANK+PGM CHNG.
2. Select MIDI OUT port (USB+MIDI, MIDI, USB).
3. Select MIDI CHANNEL (1-16, ALL, GLOBAL CH, OFF).
4. Select MSB (if BANK+PGM CHNG had been selected in step 1).
5. Select LSB (if BANK+PGM CHNG had been selected in step 1).
6. Select NUMBER (Program Change command 0-127).
7. Press DATA knob to confirm, and press again to send this single program change command.
8. Press P CHNG button to return to the main menu, where you can make settings for an additional single program change to send out. Alternatively press PRESET (or any other MAIN MENU button, apart from P. CHNG) to return to the original pad operation.

MC Mode Assignment Table

MOTÖR	MC
Faders 1-8	Faders 1-8
Master Fader (9)	Master Fader (9)
Encoders 1-8	V-Pots 1-8
Pads 1-8	No MC mode assignment (Pads keep the original assignments from the “Standard MIDI Mode”)
Transport Section (<<, >>, Stop, Play, Loop, Rec)	Transport Section (<<, >>, Stop, Play, Cycle, Rec)
Sustain Pedal	User Switch 1 (rear input)
Expression Pedal	External Control (rear input)
Pitch Bend Wheel	No MC Mode assignment (keeps “Pitch Bend”)
Modulation Wheel	No MC Mode assignment (keeps original assignment from “Standard MIDI Mode”)
Fader Banks 1-8	V-POT Assign Track
Fader Banks 9-16	V-POT Assign Send
Fader Banks 17-24	V-POT Assign Pan/Surround
Fader Banks 25-32	V-POT Assign Plug-IN
Encoder Banks 1-8	V-POT Assign EQ
Encoder Banks 9-16	V-POT Assign Instrument
Encoder Banks 17-24	FADER BANKS Bank <
Encoder Banks 25-32	FADER BANKS Bank >
Pad Banks 1-8	No MC Mode assignment (same function as in “Standard MIDI Mode”)
Pad Banks 9-16	No MC Mode assignment (same function as in “Standard MIDI Mode”)
Pad Banks 17-24	No MC Mode assignment (same function as in “Standard MIDI Mode”)
Pad Banks 25-32	No MC Mode assignment (same function as in “Standard MIDI Mode”)
Keys + all other buttons/controls	No MC mode assignment

The actual MC-Mode functions are shown on gray background in the illustration below:



In MC Mode

技術仕様

MOTÖR 61		MOTÖR 49
Global		
Display	Backlit LCD	
Menus	Preset, Global, Edit, Program Change	
Presets	64 user presets	
Modes	MIDI or Mackie Control (MC)	
Controls		
Keyboard	49 or 61 semi-weighted full-size keys, with velocity and aftertouch	
Encoders	8 rotary controls with LED collar	
Faders	9 motorized faders, 60 mm, touch-sensitive	
Pads	8 backlit pads with velocity and pressure sensitivity	
Modulation	Wheel	
Pitch Bend	Wheel	
Transport	Backlit buttons (REW, FWD, STOP, PLAY, LOOP, REC)	
Connectors		
MIDI In/Out/Thru	5-pin DIN	
Expression	¼" TS	
Sustain	¼" TS	
USB	USB 2.0, type B	
Power Supply		
Type	12V AC/DC adapter or USB powered	
Power consumption	18 W max.	
USB powered	400 mA	
Adapter powered	2 A	
Physical		
Dimensions (H x W x D)	88 x 996 x 305 mm (3.5 x 39.2 x 12.0")	88 x 831 x 305 mm (3.5 x 32.7 x 12.0")
Weight	7.1 Kg (15.7 lbs)	6.1 Kg (13.4 lbs)

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くになくときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to Music